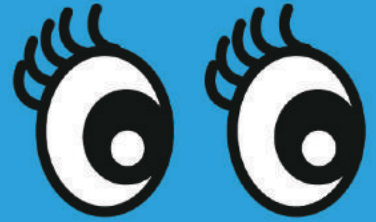


目の県民公開講座



スマホ 見すぎていませんか？

最新の再生医療を知ろう

日時

2019年9月1日(日)

10:00~12:00

(開場 9:30~)

会場

ザ・セレクトン福島

3F 安達太良 福島市太田町13-73

参加費
無料

中学生以上
先着300名

受付9:30~

第1部 講演

若者に忍び寄る スマホ老眼と老視

10:10~11:00

講師：梶田 雅義

(梶田眼科 院長)

「たけしのみん家の家庭の医学」に名医として紹介され、他にも「フジテレビ とくダネ!」、「日本テレビ ZIP!」、「日本テレビ news every」、「日本テレビ 世界で一番受けたい授業」等、数多くのテレビ番組に出演。



第2部 講演

再生医療で 目の病気を治す

11:10~12:00

講師：木下 茂

(京都府立医科大学特任講座
感覚器未来医療学教授)

国内外の角膜疾患の研究を牽引する第一人者。特に難治性眼表面疾患を対象とした再生医療について、世界トップレベルの研究成果上げられており、数多くの学会賞を受賞。



主催：福島県立医科大学眼科学講座

後援：福島県眼科医会、社団法人福島県医師会、福島市医師会、福島県薬剤師会、福島県臓器移植推進財団、ふくしま視能訓練士の会、福島県0-ビジョンネットワーク、福島民報社、福島民友新聞社、福島ビッグ新聞社

中学生以上でしたら、男女問わず、どなたでも参加いただけます。奮ってご参加ください。

「若者に忍び寄るスマホ老眼と老視
— 疲れない眼の使い方 —」

梶田眼科 院長 梶田 雅義

最近巷でよく耳にするスマホ老眼って何でしょう。一昔前は遠くと近くがよく見えれば何の不自由もなく、手元が見づらくなったら老眼鏡を使用するだけよかったです。しかし現在では遠くが見えることはもちろん、2～3メートル先のテレビ、70センチメートル前後のデスクトップパソコン、50センチメートル付近のノートパソコン、30センチメートル付近の書物やiPad、20～15センチメートルのスマートフォンと遠くから近くまで連続してよく見えることが必要になってきています。必然的に眼鏡も以前のような境目のある遠近両用二重焦点レンズから、境目のない遠近累進屈折力レンズに移り変わっています。最近では、スマートフォンを長時間使用している若年者に老視と酷似した症状が出ています。近くだけではなく遠くにもピントが合いづらく、学習に支障が出ています。このような症状を巷ではスマホ老眼と呼んで、スマートフォンの扱い方に警鐘を鳴らしています。スマホ老眼の治療のために遠近累進屈折力レンズが必要になる場合もあります。ピント合わせの対策は高齢者だけではなく、若年者にも大きな問題になってきています。幸い遠近両用レンズは眼鏡だけではなく、コンタクトレンズでも利用できるようになっています。眼を酷使しやすい環境の中で、眼をいたわりつつ快適に見えることの大切さについて一緒に考えてみましょう。

■略歴

昭和51年3月 山形大学工学部電子工学科 卒業
昭和58年3月 福島県立医科大学卒業
平成 3年3月 福島県立医科大学眼科学 講師
平成5年～平成7年 カリフォルニア大学バークレー校研究員
平成8年 福島県立医科大学
平成15年6月 梶田眼科院長
平成15年～平成26年 福島県立医科大学非常勤講師
平成30年～ 東京医科歯科大学医学部
臨床教授

「再生医療で目の病気を治す」

京都府立医科大学特任講座感覚器未来医療学
教授 木下 茂

再生医学、再生医療の進歩により、かつては治療困難と考えられていた病気が治療可能になりつつある。例えば、パーキンソン病、脊髄損傷、心臓病、肝臓病そして目の病気などである。この目の病気のなかでも、とりわけ角膜の再生医療は、眼科の領域のみならず全ての医療分野の中のトップランナーであり、新しい再生医療の道筋をつけることが一つの使命となっている。ところで、角膜とは目の最前面に位置する凸レンズ作用のある透明な組織のことである。

我々の研究グループは、再生医療として、この角膜の表面を治療する培養口腔粘膜上皮移植、角膜の裏面を治療する培養ヒト角膜内皮細胞注入法を世界で初めて考案、実施し、その安全性と有効性を確認してきた。そして、今までの臨床研究の成果を踏まえて、厚生労働省の承認を目指す臨床治験を行っている。我々の目標は、これらの治療方法が、我が国発の世界標準の医療になることである。

■略歴

昭和49年3月 大阪大学医学部卒業
昭和54年9月 Harvard大学眼科研究員(3年間)
昭和59年7月 大阪労災病院眼科部長
平成 4年4月 京都府立医科大学眼科学教室教授
平成27年4月 京都府立医科大学特任講座感覚器
未来医療学教授

会場のご案内

JR福島駅西口より、徒歩1分

<駐車場について>

ホテル指定駐車場をご利用の際はフロントにて、6時間までの無料処理をさせていただきますが、指定駐車場の台数には限りがありますので、公共交通機関等のご利用にご協力をお願いします。
指定駐車場以外の有料駐車場をご利用の場合は来場様の実質ご負担となりますので、ご了承ください。



お問い合わせ

福島県立医科大学眼科学講座

〒960-1247 福島市光が丘1番地
TEL:024-547-1303
FAX:024-548-2640
E-mail:ganka@fmu.ac.jp
HP:https://www.fmu-opt.net/

